

理解到達度

Q (○ ・ △ ・ ×) ? (○ ・ △ ・ ×) 9 (○ ・ △ ・ ×)

Q $A_n = \sum_{k=1}^n k, B_n = \sum_{k=1}^n k^2, C_n = \sum_{k=1}^n k^3$ とする。

- (1) 次の表を埋めよ。 (2) A_n を n の式で表せ。 (3) B_n, C_n を A_n を用いて表せ。

n	1	2	3	4	5
A_n					
B_n					
C_n					

- (2) A_n を n の式で表せ。 * 抽象 → 具体 → 抽象 の順で考えていくといいですよ

(3) B_n, C_n を A_n を用いて表せ。

① C_n と A_n はどんな関係でしょうか？

< 関係 >

< 立式 >

② B_n と A_n はどんな関係でしょうか？

< 関係 >

< 立式 >

* やはり数列には規則性があるってことですね

☆ 和の記号 Σ

$$\sum_{k=1}^n k =$$

$$\sum_{k=1}^n k^2 =$$

$$\sum_{k=1}^n k^3 =$$

$$\sum_{k=1}^n a =$$

☆

和の公式Σの特徴

$\sum_{k=1}^n a_k = a_1 + a_2 + a_3 + \cdots + a_n$, $\sum_{k=1}^n b_k = b_1 + b_2 + b_3 + \cdots + b_n$ であることを用いると

$$\sum_{k=1}^n (a_k + b_k) =$$

また, k と関係のない実数 t を用いると

$$\sum_{k=1}^n t a_k =$$

?

なぜ, 上の特徴が成り立つのでしょうか?

* Σを使うか 書き出して和を求めるかはどちらでもいいです どちらでもできてください

9

次を 2 通り (1° これまで通り 2° Σ計算) で計算をせよ。

(1) $S = 1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9$

(2) $S = 3 + 6 + 9 + 12 + \cdots + 33$

(3) $\sum_{k=1}^7 2k$

(4) $\sum_{k=1}^7 (2k + 1)$

(5) $\sum_{k=1}^{10} (2k^2 + k)$

●振り返り
印象に残ったこと・共感したこと・新たな発見 を自分の言葉でまとめる

20
40
60